

新企業創出支援事業 (新企業創出支援事業会計)

1. 実施方針

(1) 達成目標

新規創業件数 20件
相談対応件数 670件

(2) 活動方針

新規創業の支援については、バイオラボ株式会社の経営破たんを機に直接投資を行わないこととなり、今後は創業しやすい環境づくりを進め、起業家の裾野を広げるとともに、自立・成長を促し、民間等の各種支援策につなげていくような支援に取り組み、企業の継続的な創出・育成を図る方針。

相談対応については、企業を取り巻く諸問題が、複雑・高度化かつ多岐に渡ってきていることから、職員の窓口での対応能力の向上とあわせ、企業が抱える諸問題に専門的見地から対応できるインストラクターや専門家の分野の幅を広げて登録者を増加する取り組みを進めるとともに、窓口対応のみではなく直接企業に出向いて企業が相談しやすい環境づくりに努めていく方針。

2. 実施計画

(1) ベンチャー創出総合支援事業 【予算額 75,347千円】

1) BI基盤整備事業の主な事業

ベンチャーサロン事業 【予算額 1,040千円】

ベンチャー企業・地場企業・大学関係者及び行政等のメンバーによる異業種交流の場を設け、各種経営セミナーや講演会を開催し、企業経営・技術力向上等に資する情報提供を行う。

・各種セミナーの開催：15回（長崎・佐世保）

ビジネスインキュベーション基盤整備事業

〔予算額 1,130千円〕

起業意欲の醸成・啓発を図るため、市町・商工会議所・商工会と連携を図りながら、創業・起業セミナーを県内各地で開催し、起業を志す方の需要を掘り起こすとともに、創業・起業時の各種問題に対し助言・指導を行い創業件数の向上を図る。

- ・創業・起業セミナーの開催：10回

NAGASAKI起業家大学事業〔予算額 5,705千円〕

起業予備群や創業期の経営者及び新規事業の企画担当者等を対象として、起業や新規事業の推進のために必要な経営の基礎知識や事業計画の作成等についてのセミナーを開催する。

また、離島地域等での開催や受講修了者へのフォローも実施する。

- ・開講予定コース：2コース
 - ベーシックコース：経営の基礎から事業計画の策定
 - 起業家速成コース：起業の検討に必要な知識の習得

長崎県ビジネス支援プラザ支援事業〔予算額 7,300千円〕

県ビジネス支援プラザに入居している起業予定者及び企業に対して、支援専門マネージャー等を派遣し、新規事業の早期立ち上げと堅実な成長を支援する。

また、県内にある他のインキュベータとの連携を図り、入居企業間の交流や支援を実施していく。

- ・入居スペース：13社分

2) 経営支援事業の主な事業

専門家等派遣事業〔予算額 7,123千円〕

創業や経営に関する専門的な相談に対して、財団に登録している外部専門家（中小企業診断士、税理士、会計士、弁理士、司法書士等）や企業インストラクター（専門的な技術やノウハウを有する県内大企業OB等）を派遣し、適切な診断・助言を行い企業の問題解決を図る。

- ・専門家派遣数：48回
- ・企業インストラクター派遣数：120回

3) ベンチャー企業フォローアップ事業

ベンチャー企業フォローアップ事業〔予算額 26,503千円〕

成長が期待できるベンチャー企業に対して、継続的に助言を行い、企業の成長を促進する。

また、大学等発ベンチャー及び元気ベンチャー創出支援事業の投資先企業に対し、これまでの支援専門マネージャーによる支援に加え、公認会計士による会計調査、外部専門家委員会の設置などにより、各企業の事業計画の進捗状況の把握に努め、経営支援等をさらに強力に進める。